

クラブ活動報告

市堀川スタディークルーズ

和歌山ロータリークラブ

実施日：2025 年 11 月 1 日（土）

和歌山ロータリークラブでは、昨年に続き「市堀川スタディークルーズ」を実施しました。スタディークルーズでは、川の歴史を振り返りながら、現状を視察します。

和歌山市中心部には、市民の生活に密接に関わってきた大切な内川（市堀川、大門川、真田堀川、和歌川、有本川）が流れています。その内川も、昭和 30、40 年代には、有害物質カドミウムによる汚染が日本で、悪臭も酷く「死の川」と呼ばれるほど汚れていました。しかし、長きにわたる先人達の知恵と努力の積み重ねで、汚れも臭いもかなり改善されてきています。

クルーズ出航を 10 時、11 時、12 時 30 分と 3 つのグループに分け、それぞれ雑賀橋西詰にある和歌山ブルース歌碑近くで乗船。いくつもの橋の下をくぐり和歌川を南下して和歌川ポンプ場で折り返すルートで、約 1 時間です。

川の水は透明とまでは行きませんが、嫌な臭いも無く、所々魚も水上に跳ねるくらい綺麗になっていました。

また、船から見る街は、普段とはまるで違う装いで、新鮮な気持ちで楽しめました。航行中には、物珍しいのか、川沿いを走っている車から手を振ってくれる人がいたり、川辺の公園では子供達から「どこへ行くの？」と声をかけられたりしました。

今回の視察体験で、河川を身近に感じ、河川の大切さ、後世に受け継ぐ為の保全の大切さを学ぶ事業となったと自負しております。

